

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0472200443		
法人名	社会福祉法人 鶴寿会		
事業所名	グループホームさわやか		
所在地	宮城県柴田郡川崎町大字川内字芦畑8-3		
自己評価作成日	令和 2年 9月20日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会		
所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル2階		
訪問調査日	令和 2年10月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地理的に町から離れた場所にある為町場への買い物や町の行事には積極的に参加し地域に密着した生活を送って頂けるよう工夫しています。又職員全員が明るく笑顔を絶やすことなく敬意を持ったかわり方を心がけており利用者様には不安なく楽しい日々を送って頂けるよう努めています。山間ならではの四季折々の変化を感じとって頂けるよう、季節ごとの食べ物を収穫したり花々を愛でながらの散歩に出掛け外の空気に触れ気分転換を行いながら生活意欲を高めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

山形自動車道、川崎インターから8キロほど北側で、川崎町中心地から離れた自然豊かな山間部に「グループホームさわやか」がある。敷地内には、同法人が運営する特養ホームと軽費老人ホームが隣接しており、災害訓練や運営推進会議、緊急時の対応などで連携体制が出来ている。入居者にとって地元ということもあり、各種のイベントや運営を通して、地域と親密な交流がある。認知症特有の忘れてしまう不安を抱える入居者の心を推し回り、その人の思いを汲み取って寄り添う介護に取り組んでいる。職員入居者ともどもに「さわやか」での生活が長くなり、介護の負担軽減が課題となってきている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで身体や精神の状態に応じて満足出来る生活を送っている。 (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、やりがいと責任を持って働いている。 (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者の意思を出来る限り尊重し、外出等の支援をする努力をしている。 (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、医療機関との連携や、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

2.自己評価および外部評価結果(詳細)(事業所名 グループホームさわやか)「ユニット名 」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	年度末に次年度に向けた理念について話し合い今の利用者様の実情に沿った尚且つ地域密着の意義を踏まえた理念になるよう考えています。毎朝の申し送り前に職員全員で理念を唱和し共有しながら実践に繋げていけるよう心がけています	「笑顔」や「一人ひとりを尊重する」こと、「地域の一員として」などを今年の理念に据えた。目線の置き方や声の掛け方などを意識して、その人の思いを受け止めるケアを大切にしている。朝礼時に各職員は、その日の目標を発表し、達成に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	例年であれば地域の行事に積極的に参加し交流を深めてきましたがコロナウイルスの感染防止により行事は殆ど中止となっております。町内ドライブや町内の店での買い物など取り入れ少しでも町の様子に触れられるよう努力しています	地域の秋祭りで、パン食い競争や玉入れをして楽しんだ。支倉常長まつりに貴婦人の衣装でのパレードや町民文化祭への展示などに参加している。ホーム行事に地元商店主がボランティアで来訪する。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナの影響で活動は自粛されているが町の事業で行っている介護フェスティバル等に参加し歌やおどりなどを披露し町の方々に見て頂いたり町民文化祭にも作品を出展し地域の人々に向けてアピールしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の区長さんやご家族様にも参加いただいております。地域の方の意見やご家族様の考えなどをお聞きするとともにサービスの取り組み状況についても報告し、皆さんの思いに沿ったサービスに繋がっている	特養ホームと他グループホームとの3事業所合同会議を行っている。水害時の避難場所や食糧確保についての質問や、体制づくりの提案があった。3月と5月の会議は、資料送付で報告し、7月から通常開催になった。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	川崎町の介護サービス事業所向けの研修に参加し他事業所との交流や情報交換など行っています。新規入所者の方や移動された方等についても電話での情報交換は常に行い協力関係を築いています	運営推進会議に担当課職員が出席し、町のイベント情報を話したり、介護保険への質問に答えるなどしている。町の介護予防フェスティバルや商工祭りに参加した。感染症に関する研修会など、積極的に参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員が研修に参加し学んできたことを職員会議の場で発表し全職員で共有し、身体拘束についての理解を深め拘束をしないケアに努めている	研修を行い、理解度や実践状況を見ながら、身体拘束廃止に関する委員会でも次に必要な研修内容を討議している。「入居者が制限されない普通の生活をするための、自立の手伝いをする」のが、職員のすべきことと理解している。対人支援のケア技法を学んだ。	
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員を設け日々の支援で気付いたことや研修で学んできたことなど職員会議の場で発表し勉強会を行い支援の中で虐待が見過ごされない様努めている	権利擁護と高齢者虐待防止の各委員会がある。法の趣旨と虐待の分類などを学んだ。「されない」「したい」などの意思を尊重することや嫌だった声掛け良かった声掛けを入居者に聞いてみるなどの職員意見があった。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	身体拘束や虐待防止の内容を踏まえ権利擁護についても同様に勉強会を行い研修にも積極的に参加し学んだことを有効に活用していけるよう取り組んでいる		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時に利用契約書、重要事項説明書についてご家族様に納得していただけるよう十分な説明を行い不安な点や疑問に思ったこと等解消していけるよう努めている		
10	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプランの中にはご家族様やご本人の要望や意見が反映されるように聞き取りの場を設けている。又面会時や運営推進委員会の場でもお話を伺い必要に応じて電話での連絡も取り入れながら運営に繁栄していけるよう心掛けている	クリスマス会などのホーム行事に招待し、併せて家族会を開いている。コロナ対策として体調管理などを説明した。意見や要望の聴取を行っているが、感謝の言葉しか聞かれない。家族同士で解り合えると家族会は好評である。	
11	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送り時や週に一度のケアカンファレンス又は月に1度の職員会議の場において職員の意見や提案を聞く機会を設けており、話しやすい雰囲気づくりに努め内容を共有し実行に移していけるよう取り組んでいる	理念に掲げた「笑顔」を引き出すために、屋内での夏祭りや駄菓子屋、入居者自身での買い物など、すべてのアイデアが職員から出されている。要望を受けて、休憩時間をずらしたり、入浴介護の負担軽減を行った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働き方改革による5日以上の有給の消化が確実に行われるよう勤務状況の把握に努めておりやりがいや向上心を持って働けるように頑張っているところや努力している点に目を配り環境の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、動きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人のケアの実際と力量に合わせた研修に積極的に参加しており学んできたことを伝授していくことにより学びの再確認を行えるようにしている		
14	(9)	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町主催の同業者による研修や勉強会、懇親会に参加し交流する機会を持ちネットワーク作りの基礎を築きサービスの質の向上に繋げられるよう取り組んでいる	同法人が主催する介護職を対象とした研修に参加し、他と交流する機会になった。町のケアマネ会に参加し事例発表を聞いて支援に活かした。行政主催の、交流を目的とした懇親会に参加した。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の実調や入所時の聞き取りにより困っている事不安な事要望等に耳を傾け不安な気持ちを取り除き安心な気持ちを確保していけるようケアプランに充実しより良い関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の立場からの不安や要望にも耳を傾け共感していくことでより良い関係性を築いていけるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の様子を情報収集シートにまとめていくことにより必要としている支援を見極め、他のサービス利用も提案してみるなど柔軟な対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事ややりたいことを見出し、本人の意思決定を尊重し達成感のある生活に繋げていけるような関係性を築いている		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	担当者からの月毎の近況報告や「さわやか便り」にて日頃の本人の様子を知って頂き面会しやすい環境づくりにも努め絆を深められるよう配慮しこまめに連絡を取り合いながら共に支えていく関係を築いていけるよう努力している		
20	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や場所との関係性が途切れない様上手く橋渡しが出来よう臨機応変に対応するとともに要望に応じた個別支援での外出も取り入れている	町の中心街は入居者にとって、どこも馴染みの場所であり、買い物や通院など変わらずに行えている。新しい入居者と昔の話をしたり、好きな歌を一緒に歌うことで、ホームに馴染んでもらえるよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士での関係性を把握し心地よい関係性が保てるよう、時には間に入りコミュニケーションをとり一人一人が孤立せず支え合えるような支援に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了したとしてもその後の状況に応じた対応を心がけ、本人・家族の方に寄り添い関係性を大切にしながら相談や支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人に寄り添い日常の会話や表情の中から本人の意向や希望などをくみ取っていきけるよう努めています。また本人が意思決定しやすいような声かけや場面設定などを行い本人の思いを引き出していきけるよう努めています	入居者の「してもらいたいこと」を聞いて対応している。タオルで清拭布作りや七夕の輪繫ぎ作りなど、達成感を感じてもらえる活動を勤めている。認知症状の強い人の思いを推し測り、不安を取り除く見守りを共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の情報収集や日頃の本人との会話や家族との連絡の中から生活歴やこれまでのサービスの経過などの把握に努め、継続性を保てるような支援を目指している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の様子や健康状態などその日ごとに詳細に記録していくことで職員同士情報を共有し合い現状の把握に努めている		
26	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	バックグラウンドや生活歴等念頭に置き、本人、家族との十分な話し合いのもと、日々の記録の中で気付いたこと等を持ち寄りよりよく暮らしていくための介護計画を作成していきけるよう努めている	本人意向の「自立した生活」に向けて、身体機能の回復を援助内容に入れ、「出来ることで役割を持つ」などを目標にした。その人の疾病について勉強し、ストレスを溜めない生活や気分転換を目標に入れた。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人一人の様子を日々観察し個別に記録していくことで職員間での情報の共有を行い実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	色々な方面から支援していきけるよう職員が常に多職種との連携を深め広い視野を持つことにより柔軟な支援やサービスの多機能化につなげていきけるよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町の公報などに目を配り、地域の行事への参加や公園の散策又は近隣の散歩などで地域資源を十分に活用し、本人が自ら持てる力を発揮していけるよう促し安全で豊かな暮らしを楽しむことへと繋げている		
30	(13)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と事業所との連絡を密にし関係を築きながら、本人家族との話し合いのもとに適切な医療が継続的に受けられるよう支援している。受診時の内容についても家族職員間で共有していけるよう連絡を密にし記録に残している	隣接する特養の看護師が、入居者の褥瘡や摘便、皮膚疾患の手当てをしてくれる。入居者の急変時は、管理者か主任が判断し、看護師に相談するなど対応している。必要に応じて、歯科の訪問診療が受けられる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当事業所に看護師はいない為隣接している同法人の看護師に協力を得ており連携を図りながら急変時の対応や処置方法などについて指導を受けている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院に至るまでの経緯やADLの情報を明確にした入院時サマリーを病院側に提出しスムーズに対処していただけるようにするとともに、病院関係者との関係づくりを行い早期退院に向けての情報交換や相談に努めている		
33	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族様の気持ちに寄り添っていけるよう早い段階から話し合いを持ち当施設で出来る事と出来ない事の理解を深めていただきその中でできることを確認しあいながら安心して過ごして頂けるように努めている	入居時に、ホームにおける「ターミナルケア（看取り）指針」を説明している。医師の診断に始まり、計画に基づいたケアや看取り経過を段階ごとの対応方法などを明記している。本人、家族に希望があれば看取りを行うが、病院や特養に移ることが多い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	隣接する法人の3施設にて年3回の避難訓練を行っておりその際に消防隊員より応急処置の方法やAEDの操作方法などについて学んでいる。毎年繰り返し行うことにより実践力を身に付けている		
35	(15)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	隣接する同法人3施設の協力体制を築いており災害時のマニュアルに沿った動きを確認しあっている	夜間想定を含む年2回の避難訓練をした。併せて消火器やAEDの取り扱い訓練も行った。隣接する3事業所と援護体制があり、各役割分担など周知している。署員から転倒など2次被害のないようにとの講話があった。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(16)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の意思を尊重し寄り添っていきけるよう当施設の理念にも掲げ全職員が誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしていけるように努めている	入居者に接触する時や移動の時は、説明し同意を得てから行動している。浴室や居室に入る時は了解を得ている。自分でお金を管理する人が居る。虐待の事例集を参考に、尊厳を傷つけない言葉使いに留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の食事や入浴着替え等色々な生活の場面において常に声がけを行い本人の自己決定を促している。言葉に出して伝えられない利用者様には表情やしぐさなどから思いをくみ取れるようコミュニケーションをはかっている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の気分や健康状態または天候など配慮し一人一人のペースを把握しながらどのように過ごしたいのか声がけを行い希望に沿った支援に繋げていけるよう努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人一人の身だしなみやおしゃれに対する拘りについて把握しその人らしさが引き出せるように声がけ支援を行っています		
40	(17)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を立てる際にはどんなものが食べたいのか伺い季節に応じた食材、又は祝い事や行事に沿ったメニューを考え、一緒に準備していくことで楽しみのある食事になるよう努めています	七草粥やおはぎ、干し柿、栗飯など、皆が出来るところを分担し、一緒に作り上げている。白和えの胡麻擦りは、男性入居者の出番となる。季節を楽しむ蕎麦打ち体験は、講師を招いて行った。百寿に会食を楽しんだ。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量についてはその都度健康チェック表に記入しており1日分の摂取量が把握できるようにしている。状態に応じて栄養補助食品や好みの飲み物など提供したり又は食べやすいように調理方法を変えたりして対応しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人一人に口腔ケアの声がけを行い、一人で出来ない利用者には義歯の洗浄、歯磨き、うがいなどの支援を行い力に応じた口腔ケアを行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(18)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄ごとにチェック表に記録を行い一人一人の排泄パターンを把握しさりげない声掛けや誘導を行い自立に向けた支援を行っている	退院時にオムツだった人への適切な誘導で、布パンツになることができた。本人の気持ちを尊重し、リハパンでなくパッドで対応したり、夜間はパッドの交換、声掛け誘導など、その人に合わせた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個人の健康チェック表に排便の記録を行い便秘になっていないかの確認を行っている。排便の間隔が長すぎる場合には医療機関より処方されている下剤や飲食物の工夫、軽度の運動を促すなどスムーズな排便へと繋がられるよう努めています		
45	(19)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	一人一人のお湯の温度の好みなども把握し気持ちよく湯船につかって頂けるよう配慮しています。できないところをお手伝いし個々に応じた支援を行い安全で不安なく入浴を楽しめるよう心配りを行っています	週のうち5日間が入浴でき、入りたい人がいつでも入れる環境にしている。視野狭窄の人には、定位置に物を置くなど工夫している。2人介助や浴槽への入り方をそれぞれに把握し、楽に入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や体調など状況に応じた声かけを行い休息を促しています。また安心して気持ちよく眠れるように気温に応じた寝具類の調整や清潔にも心がけています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人が使用している薬の処方箋を綴っており薬の目的副作用や用法、用量について理解を深めている。確実な服薬の支援を行い症状に変化が見られた時にはすぐに医療機関と連絡が取れる状態にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や嗜好品、楽しみごとなど把握し力を活かした役割などに繋げ、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように関わっています。要望に応じてレクリエーションや散歩など多く取り入れ気分転換を図れるようにしています		
49	(20)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季折々の行事や個別の支援によって外出できる機会を設けています。目的に応じて行先も相談し話し合いながら外出を楽しみにして頂いています。又町内の行事にも積極的に参加し地域の方との交流を深めています	外出の年間計画がある。年2回の定義山参拝と外食は恒例となっている。初詣や花見、仙台七夕、秋保の紅葉など四季を楽しんでいる。周辺での散歩が栗拾いになり、食卓に上がることもある。「ラーメン食べたい」などに応じて個別外出することもある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の希望や力に応じてお金を所持したり外出時にお金が見えるよう支援しています。また施設内において駄菓子屋さんやかき氷屋さんなどを出店し実際のお金を使って買い物を楽しめる行事も行っています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	便せんや封筒なども用意いつでも手紙が書けるよう整えてあります。又来た手紙は力に応じて一緒に読んであげたり返信の手紙が書きやすいようさりげなく声がけを行っています。又要望や状況に応じて本人自ら電話が出来るよう環境づくりに努めています		
52	(21)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や食堂には季節ごとの花を飾ったり、廊下や居間浴室、トイレ等は風通しを良くして換気に努めています。皆さんが集まる食堂ではカセットテープやCD等で昔懐かしい音楽を流し一緒に口ずさんだり話の話題に繋げており居心地よく過ごせるよう工夫しています	正月には玄関に門松を置いたり、食堂で餅つき会をするなど気分を盛り上げる。壁に切り絵のハロウィンを飾り、季節感を出している。回廊に囲まれた中庭に畑を作り、作物の成長を眺めることができる。転倒防止で上履きは使用していない。冬は全館ポイラー暖房で、夏はエアコンで空調管理をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳スペースには座布団やタオルケットなど置いてあり寝転んだり座ったりできるようにしておりテーブル席の他に窓際にソファも置いてあるためそれぞれ好みの場所で思い思いに過ごされています		
54	(22)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時には使い慣れた家具や寝具類、使い慣れた食器類や好みの物を持参していただき、違和感なく継続的な生活を送って頂けるよう工夫しています	昼寝をしたり編み物をするなど、自室での過ごし方はそれぞれである。家具の配置換えの要望に応じて、一緒にしている。夜間に3回の巡回をし、他に個々に合わせて対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	カレンダーや時計を意識していただけるよう配置し四季の変化や時の流れを感じていただけるよう工夫し、日めくりカレンダーのめくり方の担当を決めています。		